

令和 7 年度中堅教諭等資質向上研修実施校への事前説明

④事務所研修Ⅰ・Ⅱについて

秋田県教育庁南教育事務所

主な説明内容

- (1) 事務所研修の趣旨
- (2) 事務所研修Ⅰ
- (3) 事務所研修Ⅱ
- (4) 事務所研修Ⅰ・Ⅱの研修教科について
- (5) 事務所研修Ⅱに係る「指導主事等訪問希望調書」
の記入

(1) 事務所研修の趣旨

中堅教諭等資質向上研修の一環として、教科指導等に関わる自己課題の追究、解決に向けた実践的な研修を行い、教員としての専門性の一層の充実を図り、指導力の向上に資する。

(2) 事務所研修 I

実施日 令和7年7月8日（火）

会場 浅舞地区交流センター

主な内容
（予定）

- ・ 全体会
- ・ 全体研修

「資質・能力の育成に向けた主体的・対話的で深い学び
の視点からの授業改善について」

- ・ グループ別協議

「資質・能力の育成のための主体的・対話的で深い学び
の充実に向けて」

- ・ 教科別協議

「教科指導に関わる自己課題の解決に向けて」

(3) 事務所研修Ⅱ（中堅研対象者訪問）

- 実施期間 令和7年8月夏季休業明けから令和8年1月30日
までの学校が希望する日
- 会 場 各研修教員の所属校
- 主な内容
(予定)
- ・ 研修教科の研究授業
 - ・ 研究協議会
 - ・ 研修教員と担当指導主事による研修の
まとめ（20分程度）

(4) 事務所研修Ⅰ・Ⅱの研修教科について

「令和7年度 小・中学校年次別研修の対象となる教諭の調査」における「中堅研対象教諭名簿」

令和7年3月下旬に送付済

別紙1

令和7年度 公立小・中学校及び義務教育学校中堅教諭等資質向上研修 対象教諭名簿

学校名	学校
-----	----

<対象>

- ・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて在職期間が10年（他県での教諭経験年数を含む）に達し、令和7年度に小学校及び中学校に所属する教諭
- ・ 平成29年度～令和6年度の公立小・中学校中堅教諭等資質向上研修及び平成28年度以前の公立小・中学校10年経験者研修の対象者で、本人の事情等によりこれまで研修を実施していない教諭

【名簿作成に当たって】

- 1 令和7年度に本研修を実施する場合は、「実施の有無」欄を○とすること。
- 2 研修対象教員が、病気休暇や育児休暇等長期の休暇・休暇明けにあり、本研修の実施に当たり心身の状態等に十分な配慮が必要であるなど、やむを得ない事情により研修の実施時期を次年度以降に希望し、そのことを校長が妥当であると判断した場合は、「実施の有無」欄を×とし、その理由を備考欄に記入すること。
- 3 「研修教科」の欄には、「中堅教諭等資質向上研修事務所研修Ⅰ・Ⅱ」において、研修を希望する教科を次により記入すること。なお、事務所研修Ⅱは、「中堅教諭等資質向上研修対象者訪問」として学校訪問の形で実施する。

【事務所研修実施予定日 Ⅰ：令和7年7月8日（火）、Ⅱ：令和7年8月～令和8年1月】

・ 小学校教諭は、次の教科群から1つ選び、記入すること。

教科群：国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、体育、家庭、外国語活動・外国語

・ 中学校教諭は、次の教科群から免許を所有する教科を1つ選び、記入すること。

教科群：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語

※研修を希望する教科については、総合教育センターで実施される中堅教諭等資質向上研修講座における研修希望教科と同一でなくてもよい。

- 4 「校務分掌等」の欄には、主な校務分掌や担当学年を記入すること。

※令和7年4月1日現在で記入すること。

No.	氏 名	ふりがな	実施の有無 ○×	研修教科 ※事務所研修Ⅰ・Ⅱにおける教科を選択してください。	校務分掌等	備 考 ※令和7年度の転入者については、前任教諭を必ず記載してください。
例1	秋田 太郎	あきた たろう	○	外国語活動	研究主任・4年学級担任	
例2	仙北 勝雄	せんぼく かつお	○	算数	2年特別支援学級担任	
例3	雄勝 次郎	おがち じろう	○	社会	3年学級担任	令和7年度に△△立△△中学校から転入
例4	南 花子	みなみ はなこ	×			育休明けのため令和7年度は実施しない。
1						
2						
3						
4						
5						

※欄が足りない場合は増やして記入して下さい。

(4) 事務所研修Ⅰ・Ⅱの研修教科について

事務所研修Ⅰ・Ⅱの研修教科を記入

No.	氏 名	ふりがな	実施の有無 ○×	研修教科 ※事務所研修Ⅰ・Ⅱにおける教科 を選択してください。	校務分掌等	備 考 ※令和7年度の転入者について、前任校を必ず記載してください。
例1	秋田 太郎	あきた たろう	○	外国語活動	研究主任・4年学級担任	
例2	仙北 勝雄	せんぼく かつお	○	算数	2年特別支援学級担任	
例3	雄勝 次郎	おがち じろう	○	社会	3年学級担任	令和7年度に△△立△△中学校から転入
例4	南 花子	みなみ はなこ	×			育休明けのため令和7年度は実施しない。
1						
2						
3						
4						
5						

次の教科群より研修教科を選択

小学校：国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、体育、家庭、外国語活動、
外国語

中学校：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語

(5) 事務所研修Ⅱに係る 「指導主事等訪問希望調書」 の記入

「令和7年度 指導主事等訪問計画について」における「指導主事等訪問希望調書」

令和7年3月下旬
に送付済

(用紙1-2)

指導主事等訪問希望調書

教委名 ○○市教育委員会

学校名 △△△△

整理番号 △△△

学級数 10

「中堅研対象者訪問」については、8月～1月を希望日とする。教科は年次研調査に記載した教科とする。第1～第3希望が同一の月に重ならないように、別々の月に希望日を分けて設定する。

訪問名	教科等名	訪問時期			備考[2]	南教育事務所記入欄[Ⅲ]
		第1希望	第2希望	第3希望		
＊初任研修了者訪問 ＊中堅研対象者訪問	社会	8/27, 28, 29	9/19, 17, 18	11/7, 19, 21	教科等訪問と兼ねる(中対象)	教科等訪問と兼ねる場合は、備考に記入する。
	理科	9/1, 2, 3	9/11, 12, 10	9/24, 25, 26	教科等訪問と兼ねる(初修了)	
	国語	11/27, 28, 25	12/2, 5, 8	12/12, 10, 11	(初修了)	
南教育事務所記入欄[Ⅳ]						

備考に、訪問の種類が分かるように記載する(省略可)。

＊「中堅研・初任研修了者訪問」「中堅研対象者訪問」を、「教科等訪問」と兼ねることもできる。その際は備考欄[2]に「教科等訪問と兼ねる」と記載すること。

形態番号	教科等名	訪問時期			備考[3]	南教育事務所記入欄[Ⅴ]
		第1希望	第2希望	第3希望		
要請訪問	1 特別活動	10/7, 8, 10	9/22, 29, 30	10/1, 3, 6		
	2 数学A	6/9, 10, 11	7/2, 3, 1	7/10, 9, 7		
	3					
備考[4] 10月31日○○市公開研究会(特別活動)						

修了者訪問や対象者訪問、要請訪問の欄が不足した場合は、適宜増やす。

本研修について御不明な点がある場合は……

